

## 学校設備の充実で学びをはぐくむ

4月7日、市内全ての小中学校で入学式が行われました。

今年度、石動小学校の空調設備の整備が予定され、これで小矢部市内全ての小中学校の普通教室に空調設備が完備されることになりました。教育環境を充実させ、明るい未来を次世代へ託します。



(写真：石動小学校入学式)



### 目次

当初予算・補正予算の概要	2	閉会中委員会開催状況	11
審議経過	2	委員会報告・議長交際費	12
予算特別委員会の設置等	3	次回議会日程等	13
意見書	3	会務報告	13~14
審議議案・議員別賛否状況	4~5	編集後記	14
代表・一般質問	6~10		

# 平成28年度予算可決

おやべの輝く未来の実現に向けて再生から創生へ  
 おやべの地域力創造積極予算

3月4日から24日までの21日間を会期として3月定例会を開会しました。  
 市長から平成28年度一般会計及び各特別会計予算、平成27年度一般会計補正予算、条例制定と条例改正、人事案件など議案36件、議員から議員提出議案3件（条例改正1件・意見書2件）が提案され、それぞれ原案のとおり可決・同意等しました。

また、請願2件を処理し、議員派遣を可決しました。

## ◎ 当初予算の概要

会計名	予算額	伸率
一般会計	145億7,850万円	4.2%
公共用地先行取得事業特別会計	1億5,340万円	0.3%
国民健康保険事業特別会計	35億6,580万円	△0.9%
後期高齢者医療事業特別会計	8億1,870万円	0.4%
下水道事業特別会計	23億2,210万円	0.2%
農業集落排水事業特別会計	1億6,870万円	2.7%
東部産業団地事業特別会計	1億2,740万円	0.5%
水道事業会計	11億8,058万円	2.6%
合計	229億1,518万円	2.7%

\*当初予算の詳細は、「みんなで考えよう おやべの予算」をご覧ください。

## 3月定例会の審議経過

- 4日 本会議（提案理由説明）  
全員協議会
- 7日 議案調査日
- 8日 議案調査日
- 9日 議案調査日
- 10日 議会運営委員会  
本会議（代表・一般質問）
- 11日 本会議（一般質問）  
全員協議会
- 14日 予算特別委員会
- 15日 予算特別委員会
- 16日 予算特別委員会
- 17日 人口対策等特別委員会  
民生文教常任委員会
- 18日 産業建設常任委員会
- 22日 総務常任委員会  
駅周辺整備特別委員会
- 23日 委員長会議
- 24日 議会運営委員会  
全員協議会  
本会議（質疑・討論・表決他）

## ◎ 補正予算の概要

### 議案第9号 平成27年度小矢部市一般会計補正予算（第4号）

補正額 8,342.2万円 累計予算額 144億9,359.1万円

#### ＜主な事業＞

- ・とやま魅力発信戦略タイアップ事業 300 万円
- ・小矢部型稼げる農業創造事業 4,200 万円
- ・メルヘンのまち小矢部で「再生から創造プロジェクト」推進事業 1,000 万円  
（上記 地方創生加速化交付金事業）
- ・石動小学校空調設備設置事業 2,700 万円

### 議案第10号 平成27年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

補正額 0円 累計予算額 36億6,071.1万円

- ・特定健康診査等事業費の減 △50 万円
- ・人間ドッグ等疾病予防費の増 50 万円

### 議案第11号 平成27年度小矢部市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 △1億2,730万円 累計予算額 21億8,980万円

- ・社会資本整備総合交付金事業費等の減 △1億2,730 万円

### 議案第12号 平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

補正額 △657.5万円 累計予算額 1億6,807.5万円

- ・公共柵等移転補償金の減 △657.5万円

### 議案第13号 平成27年度小矢部市水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収入補正額 20.1万円 累計 6億4,473.1万円

資本的収入補正額 2,641.8万円 累計 2億2,481.8万円

## 予算特別委員会の設置

平成28年度当初予算案を審査するため、予算特別委員会（委員長 義浦英昭・副委員長 加藤幸雄）を設置しました。

3月14日から16日までの3日間、一問一答方式による活発な議論が行われ、採決の結果、全8議案を原案のとおり可決しました。

## 人事案件

### ◎教育委員会教育長の任命

野澤 敏夫 氏（末友）

### ◎人権擁護委員の候補者の推薦

上田 紀久子 氏（道明）



## 意見書（議員提出）

地方自治法第99条の規定に基づき、政府に対して意見書を提出しました。

### 北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を求める意見書

北朝鮮は、我が国を始めとする国際社会の制止を無視して4回目の核実験を行い、その後さらに弾道ミサイルの発射を強行した。

北朝鮮による日本人拉致問題が全く進展しない中で、度重なる暴挙は、北東アジア及び国際社会の平和と安全を著しく損なう挑発行為であり、断じて容認できない。

今回、政府は新たな制裁措置として、再入国禁止の対象を核・ミサイル技術者に拡大したほか、全ての北朝鮮籍船舶の入港禁止などの日本独自の制裁措置を決定したところ、北朝鮮は、ストックホルム合意に基づく日本人拉致被害者及び特定失踪者らに関する全面的な再調査の中止と特別調査委員会の解体を表明した。

政府認定の12名の拉致被害者の帰国が実現していない状況が続いており、また、富山県関係者8名を含め、北朝鮮によって拉致された可能性が排除できない多くの方々も引き続き存在していることを忘れてはならない。

これまで北朝鮮は、調査報告の先送りを一方的に通告するとともに、その後に至っても、報告を行うことなく、不誠実な対応を重ね続けてきたことを踏まえ、今こそ我が国は、独自の制裁措置を具体的な成果につなげるよう、これまで以上に強い態度を実行に移し、拉致問題解決に向け、対処すべきである。

よって、国会及び政府におかれては、関係各国との緊密な連携及び国連を中心とする多国間の協議等を踏まえつつ、「対話と圧力」、「行動対行動」という一貫した方針の下、さらなる強い制裁を含むあらゆる手段を講じて、最重要課題である全ての拉致被害者の方々の一刻も早い帰国の実現に向け、全力で取り組むよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月24日

小矢部市議会議長 石田 義 弘

#### 提出先

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
外務大臣  
総務大臣  
拉致問題担当大臣  
内閣官房長官

### 医療機関等に係る消費税問題の抜本的解決を求める意見書

国民だれもが、いつでも、良質な医療を受けられるよう、良識と熱意をもった医療従事者が懸命に医療提供をしている。それを実現し、支えているのが、医療機関の連携の下で地域毎に必要とされる医療を適切に提供していく仕組みである地域医療提供体制である。

一方、社会保険診療等は消費税非課税であるため、医療機関等は仕入れに対して支払った消費税を控除することができず、医療機関等の負担となっている。仕入れにかかった消費税相当分については、診療報酬等に上乗せされる仕組みとなっているものの、消費税上乗せ分の補てんが不十分であることなどにより、消費税負担が医療機関等の経営を圧迫している。

消費税率が10%に引き上げられることが予定されている中、このままでは社会保障の充実・維持を目的とする消費税率の引き上げが、医療機関等の経営状況の悪化につながるおそれがある。

よって、国会及び政府におかれては、医療機関等における消費税負担の状況を把握し、抜本的解決に向けて必要な措置を講ずることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月24日

小矢部市議会議長 石田 義 弘

#### 提出先

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣



# 3月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

議案番号	区 分 (主な内容)	議決結果	中野	山室	加藤	義浦	吉田	藤本	白井	福島	中田	石田	嶋田	沼田	中西	尾山	砂田	宮西	
			留美子	秀隆	幸雄	英昭	康弘	雅明	中	正力	正樹	義弘	幸恵	信良	正史	喜次	喜昭	佐作	
当初予算	議案第1号	平成28年度小矢部市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第2号	平成28年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	平成28年度小矢部市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第4号	平成28年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第5号	平成28年度小矢部市下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第6号	平成28年度小矢部市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	平成28年度小矢部市東部産業団地事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第8号	平成28年度小矢部市水道事業会計予算 (予算の概要は2ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	議案第9号	平成27年度小矢部市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	平成27年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第11号	平成27年度小矢部市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	平成27年度小矢部市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第13号	平成27年度小矢部市水道事業会計補正予算(第1号) (予算の概要は2ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定改廃	議案第14号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 ・行政不服審査法が全部改正され、「異議申立て」と「審査請求」の手續が「審査請求」に一元化されたため、関係条例の整備(一部改正)を行うもの。 【関係条例】 ・小矢部市情報公開条例 ・小矢部市個人情報保護条例 ・小矢部市情報公開・個人情報保護審査会条例 ・小矢部市固定資産評価審査委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号	小矢部市行政不服審査法施行条例の制定 ・行政不服審査法その他法令で定める不服申立てについて、必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第16号	小矢部市社会福祉施設等あり方審議会設置条例の制定 ・社会福祉施設等のあり方を検討する審議会を設置し、市の附属機関として位置付けるため、地方自治法の規定に基づき、条例を制定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	小矢部市立認定こども園条例の制定 ・幼保連携型認定こども園「石動きらりこども園(旧石動東部保育所)」を設置するため、条例を制定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第18号	小矢部市宿泊施設立地促進条例の制定 ・宿泊施設の立地を促進し、都市機能の充実と賑わいの創出を図るため、宿泊施設立地助成金の交付に関する条例を制定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	小矢部市附属機関条例の制定 ・要綱を根拠として設置・運営していた委員会等を市の附属機関として位置付けるため、地方自治法の規定に基づき、条例を制定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号	小矢部市行政組織条例の一部改正 ・機構改革に伴い、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第21号	小矢部市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 ・地方公務員法の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第22号	小矢部市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正 ・地方公務員法の一部改正及び行政不服審査法の全部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第23号	小矢部市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び市長等に対する給料等の支給に関する条例の一部改正 ・国家公務員の特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じ、議員及び市長等の手当について条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	議案第24号	小矢部市各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正 ・すべての附属機関の委員等の報酬の明確化を図るため、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は表決に加わりません

# 3月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主な内容)	議決結果	中野留美子	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	中西正史	尾山喜次	砂田喜昭	宮西佐作
		条例の制定改廃	議案第25号 小矢部市職員の給与に関する条例の一部改正 ・平成27年度人事院勧告に基づく国家公務員の一般職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じ、市職員の給与について条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	議案第26号 小矢部市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正 ・地方公務員災害補償法施行令の一部改正により、障害厚生年金と公務災害補償が併給される場合に公務災害補償の支給率が変更されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	議案第27号 小矢部市税条例の一部改正 ・行政不服審査法の全部改正及びマイナンバー制度における取扱いの見直しに伴い、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	議案第28号 小矢部市国民健康保険税条例の一部改正 ・平成26年税制改正に伴う地方税法の一部改正により、医療分・後期高齢者支援金分・介護納付金分の課税限度額が引き上げられたことに伴い、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	議案第29号 小矢部市ケーブルテレビネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 ・ケーブルテレビ放送番組審議会の組織や任期等の規定を条例で明記するため、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	議案第30号 小矢部市商工業振興条例の一部改正 ・本社機能の県内移転を後押しするため改正された富山県企業立地助成金交付要綱に準じ、本社機能の市内移転を促進するため、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は表決に加わりません	○	○	○	○	○	○
	議案第31号 小矢部市商業インキュベータ条例の一部改正 ・インキュベータ使用資格審査委員会の委員長等や会議の規定を条例で明記するため、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
その他	議案第32号 字の区域の変更について ・地崎地区の県営土地改良事業により、土地の区画・形状が変質したため字の区域を変更するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	議案第33号 市道の路線認定について ・市道1路線を認定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	議案第34号 富山県市町村総合事務組合規約の変更について ・構成団体である「新川地域介護保険組合」が名称変更することに伴い、規約の一部を変更するもの。 (平成28年4月1日から施行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
人事案件	同意第1号 小矢部市教育委員会教育長の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦 (人事案件の概要は3ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
請願	請願第1号 平和・安全保障関連法の廃止を求める意見書採択の請願 請願者 憲法をまもる小矢部の会 美谷克己 (紹介議員 砂田喜昭)	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○	×
	請願第2号 T P P協定を国会で批准しないことを求める請願 請願者 農民連(農民運動全国連絡会) 小矢部班 辻慶輝 (紹介議員 砂田喜昭)	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○	×
議員提出議案	議員提出議案第1号 小矢部市議会委員会条例の一部改正について ・行政組織の変更に伴い、条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	議員提出議案第2号 北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を求める意見書 (意見書の内容は3ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	議員提出議案第1号 医療機関等に係る消費税問題の抜本的解決を求める意見書 (意見書の内容は3ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○

## ■ 陳情の処理状況

陳情	陳情第1号 介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保に関する国への意見書提出を求める陳情書 陳情者 富山県医療労働組合連合会執行委員長 大浦義憲	不採択
陳情	陳情第2号 安心・安全の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員に関する国への意見書提出を求める陳情書 陳情者 富山県医療労働組合連合会執行委員長 大浦義憲	不採択



会派「誠流」  
福島 正力 議員

◎平成28年度予算の基本方針について

**質問** 国の28年度予算案は、前年度と比較して、税収の増を見込む一方で公債金を減らすという財政再建の取組を行っているが、本市の28年度一般会計予算案では、法人市民税や固定資産税で増収を見込みつつ市債も増額して編成されている。これでは市長が言う財政再建や財政健全化とはほど遠いと思うが、見解を問う。

**市長** 国・県支出金等の活用や地方交付税算入率の高い有利な市債を借り入れるなど、将来の実質的な負担が大きくならないよう、健全財政の維持に十分配慮しつつ、予算編成を行ったものである。自治体の貯金ともいえる財政調整基金や財政の健全度を測る実質公債費比率や将来負担比率といった指標の推移も見ながら、財政の健全度を常に検証し、計画的な財政運営に努めていきたい。

◎中学校の統廃合について

**質問** 平成18年度に「小中学校の適正規模及び適正配置並びに通学区域の合理化について」の答申があり、この答申から10年が経っているが、なぜ中学校の統廃合は進まなかったのか。第6次総合計画には、中学校長寿命化対策事業と

して3億円余りが計上されているが、この事業の実施前には十分な検討が必要だと思う。28年度に策定される公共施設等総合管理計画においても、中学校の統廃合を検討すべきだと考えるが、市長の見解を問う。

**市長** 市では複式学級を導入する状況になれば統合を検討すると申し上げてきた。文部科学省は手引の中で、3学級以下の中学校については統廃合を含めた検討を急ぐよう求めているが、28年度はそのような状況にはない。しかし、市全体の生徒数の減少が見込まれることから、中学校の適正規模・適正配置について検討することが必要だと考えている。今後、総合教育会議において協議を重ね、必要があれば小中学校統廃合審議会に諮問するとともに、公共施設等総合管理計画に反映していきたい。

◎国道8号の4車線化について

**質問** 市は、一般国道8号の俱利伽羅トンネルの整備促進と芹川・桜町間の4車線化を国・県に要望しているが、津幡北バイパス・桜町間の早期4車線化も重要だと思う。現在までの進捗状況と今後の見通しを問う。

**市長** 今年度、芹川・桜町間の約1.8kmの区間のうち700mの区間で4

車線化が完了した。また、3月中旬には茅渟橋の橋脚設置工事が契約され、28年度から本格的に工事が始まると聞いている。50年以上経過し老朽化した俱利伽羅トンネルの抜本的整備の着手時期は明らかになっていないが、早期の整備に向けて、重点要望や期成同盟会、津幡町との合同要望等で働き掛けていきたい。

◎中小企業振興条例について

**質問** この20年間で商店数や事業所数が半減している。従来型の工場誘致が難しくなる中、地域内発型中小企業による新事業創出・振興に注目が集まっている。今後、急激な少子高齢化により、自治体の財政収入の激減と地域産業の空洞化が懸念されている。10年・20年先を見据え、中小企業を軸とした産業振興を進めるため、本市においても中小企業振興条例を制定すべきではないか。

**市長** 中小企業の発展は、市民生活と深く関わっており、地域経済や雇用を支えるだけでなく、まちの賑わいや市民サービスの向上といった地域活性化の好循環に繋がっているのだと思っている。そのため28年度には、商工会や企業協会、金融機関や学識経験者等をメンバーとした(仮称)中小企業及び小

規模企業振興に関する基本条例策定委員会を設置して協議をし、できるだけ早い段階での施行を目指していきたいと考えている。

◎「義仲・巴」NHK大河ドラマ化について

**質問** 昨年はアウトレットモール開業やゆるキャラ®グランプリ入賞などで全国的に知名度が向上した。今後、更に知名度を向上させるため、「義仲・巴」NHK大河ドラマ化の実現が望まれる。「義仲・巴」広域連携推進会議では4県35自治体が活動を展開し、また官民協働での交流も活発化している。これまで以上に強力な体制で大河ドラマ化を推進すべきと思うが、市長の見解を問う。

**市長** 「義仲・巴」広域連携推進会議は、富山県、長野県、石川県、埼玉県、滋賀県、長野県、石川県の31市町村の4県35自治体で構成していたが、昨年10月に滋賀県と神奈川県との2県と滋賀県内の3市町が加わり、6県40自治体にまで組織が拡充されている。大河ドラマの誘致には資料収集が大事であるとの意見もあることから、推進会議の構成自治体と連携を密にしなから、情報収集と情報発信に取り組み、更に強力にNHKに働き掛けていきたい。

- ◎平成28年度予算の基本方針について
- ◎中学校の統廃合について
- ◎国道8号4車線化について
- ◎中小企業振興条例について
- ◎「義仲・巴」NHK大河ドラマ化について

- ◎不法投棄をさせない対策づくりについて
- ◎あいの風とやま鉄道のサービス向上に向けての対応について
- ◎おやべ大学の特徴づくりについて
- ◎お寺の力を生かして、小矢部人づくりを提案
- ◎想定外に起きうる犯罪に対して、今、取り組んでおくべきことについて

中野留美子  
議員



**質問** 最近、ごみの不法投棄が目立つように思う。不法投棄を予防するため、氏名の公表など厳しい対応が必要ではないか。見解を問う。

**民生部長** 小矢部市をきれいにするまちづくり条例に基づき、氏名等の公表は可能であるが、その運用には慎重な対応が必要である。警察署等の関係機関と地域住民との官民一体の監視体制が必要であり、協力して取り組んでいきたい。

**質問** 石動駅周辺整備が進むと、利便性が高まり、賑わいが生まれてくる。あいの風とやま鉄道に対して、サービス向上のイメージを共有する働きかけが必要ではないか。

**企画室長** 昨年9月の待合室改修、11月の長距離移動者用の無料駐車場の再開や券売機の増設など、利用環境の改善や利便性の向上が図られている。今後、石動駅周辺整備事業が本格化することから、更なる利用環境の改善と利便性の向上に向け、働きかけていきたい。

**質問** 「おやべ大学」を開設するということだが、どのような特徴を持った大学を構想しているのか。

**企画室長** 市の課題を解決する政策立案を若者の視点から求めるフィールドワークの場を提供したり、既存施設をサテライト会場として活用するなど、市全域を「おやべ大学」のキャンパスと捉え、様々な学びの場を提供していきたい。

**質問** お寺の力を生かした人や家庭問題で悩む児童生徒に心相談員等に、お寺の住職を登用してはどうか。

**教育長** お寺の住職としてではなく、識見を有する方として、宗教とは一線を画して相談業務に当たることは問題ないと考えられる。しかし、定期的な相談ばかりでなく、不定期の相談もあることから、兼職は困難ではないかと思っている。

**質問** 交流人口の増加に伴い、犯罪が増えることを懸念している。事例や前例のない犯罪に対して、どのような対策を講じていくのか。

**民生部長** 警察署とも協力し、新たに防災行政無線を活用した情報提供を検討するなど、犯罪が起きにくい、起こさせない活動を展開していきたい。

山室秀隆  
議員



- ◎小矢部市の農業について
- ◎広報おやべについて
- ◎緊急避難場所について
- ◎職員定数について

**質問** 今後、人口減少が進むと、空き家や空き地が多数発生し、その多くが不在地主となり、将来にわたって使われなくなるおそれがある。空き家や空き地をほ場にする場合に、補助制度はないのか。

**産業建設部長** 空き地をほ場にする場合には、市単独の土地改良事業（事業費の20%補助・上限40万円）があるので、活用していきたい。

**質問** 新年度から広報おやべの表紙と裏表紙がカラーになるというところで楽しみにしているが、小さな文字が多く、とても読みにくい。高齢化が進む中、文字の大きさや文字数などを見直す考えはないか。

**企画室長** 限られたページ数で多くの内容を掲載しようとする、文字が小さく、行間が狭くなるなど、読みづらい紙面になることがある。文字の大きさやレイアウトを見直し、親しみやすく読みやすい紙面になるよう努めていきたい。

**質問** 万一、災害が発生した場合、市民は地域の集会所や神社の社務所に初期避難すると思う。市はこのような施設を把握しているのか。

**総務部長** このような避難場所は「一時避難場所」と呼ばれているが、現在、市では把握していない。今後、自主防災組織連絡協議会を通じて、地区防災会ごとに「一時避難場所」を定めていただくよう依頼し、市指定の緊急避難場所や避難所との連携を図っていきたい。

**質問** これまで、市は様々な改革を実行してきた。特に職員数の削減については一定の成果があったと思うが、マンパワーの確保と行政サービスの低下を防ぐ意味でも、更なる削減は困難だと思う。しかし、職員数25人に対して、臨時職員を約300人募集するというのは、少し異常なことではないか。

**総務部長** これまでの行財政改革の成果や行政サービスの多様化を受け、新たな定員管理計画は策定せず、職員定数条例の範囲内で維持しているところである。多くの臨時職員には保育所や小中学校など児童生徒に関する業務を依頼しているが、短時間の勤務も多いことから、近隣市と比べてもおおむね適正だと考えている。

◎あいの風とやま鉄道について  
◎小矢部市の教育行政について  
◎元気なまちづくりについて



藤本 雅明 議員

**【質問】** 昨年3月にあいの風とやま鉄道になったが、石動駅の利便性が悪くなったと多数の利用者から聞いている。石動駅の駅員は現在1人体制であり、営業時間内でも窓口を閉鎖している時間帯がある。観光やビジネス、アウトレットモール来場者もこのような状況には驚かれると思う。今後、人員体制が改善される予定はないのか。

**【企画室長】** あいの風とやま鉄道では、利用者の意見や本市の要望を踏まえ、石動駅の窓口により、営業時間内のきつぷ販売窓口の閉鎖時間をなくする方向で社内調整が進められている。

**【質問】** 昨年4月、改正地方教育行政法\*が施行され、総合教育会議が設置されるとともに、教育行政に果たす首長の責任や役割が明確になった。総合教育会議では、首長が公の場で教育政策について議論することが可能になったが、教育にかける桜井市長の思いを問う。

**【市長】** 小中学校の教育については、「学習力の向上」と「授業力の向上」の2本立てで推

進している。「学習力の向上」は専門である教員の先生方にお願しているが、「授業力の向上」は教育環境を充実するという点で、行政が下支えしていかなければならないと思っている。普通教室の空調設備整備やスタディメイトの派遣など、本市の教育環境は校長会からも高く評価していただいております。今後ともしっかり取り組んでいきたい。

**【質問】** アウトレットモールの来場者の1%をまちなかに誘客すると事業に取り組んでいるが、どれくらい誘客できているという認識か。

**【企画室長】** まちなかイベントや市内観光施設の入込客数はアウトレットモールが開業した昨年7月から今年2月までの間に、前年度同期間と比較して10万人が増加している。ただし、増加人数の主なものとしては道の駅メルヘンおやべやクロスランドおやべであり、まちなかの商店街に限って言えば、目に見える誘客効果は表れていないと認識しており、中心市街地への誘客が課題となっている。

◎農業振興について  
◎人口増対策について



白井 中 議員

**【質問】** 国の生産調整により、主食用米の生産面積が年々減少している。県が新たに組み組んでいる「コシヒカリ」を超える新富山ブランド米の開発推進と高収益な栽培体系への転換の取組について問う。また、いなば農協は、転作物としてキャベツの生産拡大に取り組んでいるが、収穫後に保管する冷蔵施設が必要であり、設備投資がネックになっていると聞いている。ブランド化や目標を含めて、今後どのように取組を進めていくのか。

**【産業建設部長】** 県は、コシヒカリを超える新品種のデビューを推進している。新品種は、低タンパクで美味しい、夏場の高温障害に強い、草丈が短く倒れにくい、いもち病に強く農薬が節減できることが特徴で、コシヒカリの欠点を克服し、かつ、美味しさを最大限に発揮した品種になるものと期待している。また、キャベツの生産については、現在、関西方面を中心とした契約栽培により作付面積が拡大している。今後も作付面積の拡大が図られる方針であり、必要な施設を整備するために、国

の補助事業を活用するなど検討していきたい。

**【質問】** 昨年は、北陸新幹線とアウトレットモールの開業効果によって、初めて転入者が転出者を上回ったと報告があった。本市では、社会動態において今後5年間で200人の増加を目指して取り組んでいるが、この目標はどのように設定されたのか。また、県では「30歳の同窓会in富山」を開催されたが、本市も県にならって同様のイベントを開催してはどうか。

**【企画室長】** 昨年4月から9月までの6ヶ月間の社会動態が30人超の増加であったことから、年間40人程度の増加が見込めるものと期待して、5年間で200人の増加という目標を設定したものである。

**【民生部長】** 地元から一時的に離れた若者に、ふるさとでの交流の機会を提供することで、ふるさとの魅力の再発見に繋がるのではないかと期待して「おやべde再会」事業を計画している。再会と交流の輪が広がり、Uターン人口の定着に繋がることを期待している。

\*用語解説  
「改正地方教育行政法」……地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律



- ◎地域医療構想と小矢部市の医療体制について
- ◎地域経済分析システム「RESAS」について
- ◎社会資本（道路等）の維持・管理の現状について



中田 正樹 議員

**質問** 今回策定される地域医療構想は、今後の地域医療の行方に大きな影響を及ぼすものである。人口対策・子育て支援の側面において、北陸中央病院の小児科の再開は重要な課題だと思っているが、どのように捉えているか。また、地域医療構想の策定にあたり設置される検討会でしっかりと議論していきたいと思うが、見解を問う。

**民生部長** 北陸中央病院では、富山大学に対し、小児科医師の派遣の交渉が続けている。安心して産み育てやすい環境をつくるため、小児科の再開を強く要望している。

**副市長** 地域医療構想を含め、地域医療の在り方について協議する場として、担当者レベルの検討会が開催されるが、市と北陸中央病院が連携して会議に臨むことは重要であり、しっかりと議論していきたい。

**質問** 地方創生の三本の矢のひとつ、「情報支援」に当たるのが「RESAS\*」である。今後、「RESAS」をどのように活用していくのか。また、数値に基づき施策の効果を検証することが重要であると考えるが、当局の見解を問う。

**企画室長** 徐々に「RESAS」の機能充実が図られていくところであり、今後、総合戦略の改訂や施策の点検・評価を行う際に活用していきたい。また、具体的な数値に基づきPDCAサイクルを確立することは地方創生の実現に向けて重要だと認識しており、目標数値や重要業績評価指数（KPI）を軸に、施策の点検・評価を定期的・段階的に実施していきたい。

**質問** 26年9月議会において、産業建設常任委員会から「道路の白線等が見えにくく、危険性が高まっている箇所については、早急に補修すること」との報告があった。その後、補修等は進んでいるのか。

**産業建設部長** 「路面性状調査」や「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的に市道等の補修を行っている。舗装修繕の際に白線の補修も行っているが、消えたり、見えなくなつた箇所が相当数あると認識している。今後、危険性の高い箇所から順次、計画的に白線の整備を行っていききたいと考えている。

**質問** 先日、新聞の読者のひらばに「新図書館に期待」として中学生の投稿が載っていた。この投稿を見て期待の大きさを感じたところであるが、新図書館をまちおこしの起爆剤にする考えはあるのか。

- ◎新図書館の概要について
- ◎市営バスについて
- ◎下水道について
- ◎人口減少対策について



加藤 幸雄 議員

**質問** 先日、新聞の読者のひらばに「新図書館に期待」として中学生の投稿が載っていた。この投稿を見て期待の大きさを感じたところであるが、新図書館をまちおこしの起爆剤にする考えはあるのか。

**答申** 新図書館は、駅舎と一体的に整備するため、公共交通機関利用者の増加が期待できる。立地条件を最大限に生かした「電車が見える図書館」として魅力あるサービスを提供し、市民はもちろん市外からの利用者を取り込むことで、交流人口増の一翼を担う施設にしていきたい。

**質問** 市営バスの利用者数を増やすために、28年度はどのような施策を検討しているのか。

**民生部長** 引き続き、利用者・乗務員アンケートを実施するとともに、市営バスを利用したことがない方への利用を促すため、長寿会等の団体の会合での市営バス講座を検討している。

**質問** 下水道の未整備地区について、28年度以降どのような取り組みでいく考えか。

**産業建設部長** 28年度は下水道全体計画の見直しを予定している。

**質問** 26年度に実施したアンケート結果をもとに、29年度以降の未整備地区の整備手法等について検討を行い、今後の下水道事業と合併処理浄化槽の整備の進め方について見直しを図っていただきたい。

**質問** 人口対策で特に重要なのは地域の魅力づくりだと思う。本市の魅力をつくる施策にはどのようなものがあると考えているか。

**副市長** 市では、北陸自動車道・東海北陸自動車道・能越自動車道が交差する「北陸のハブ都市」として、また、俱利伽羅等の旧跡やメルヘン建築、三大祭りなどを地域の魅力として全国に広く発信してきた。北陸新幹線やアウトレツトモールの開業により、本市のポテンシャルの高さが実証されたところであり、今後は、金沢市や富山市等の都市や海や山にも短時間で行くことができる「おやべ型ライフスタイル」を発信するとともに、市外からの通勤者の「おやべ市民化」を推進していきたい。

\*用語解説  
「RESAS（リーサス）」……経済産業省が開発を行ってきた「地域経済分析システム」、いわゆる「ビッグデータを活用した地域経済の見える化システム」



砂田 喜昭 議員

- ◎保育問題について
- ◎認定こども園について
- ◎TPPについて
- ◎下水道計画の見直しについて

**質問** 昨年12月の保育所統廃合・民営化等推進協議会からの最終答申を受け、市は地区ごとに答申内容に関する説明会を開催した。市民の声や子どもたちに何が良いかを基準に判断して欲しい。いつごろまでに結論を出す考えなのか。

**民生部次長** 今後、答申に対する市の取扱を決定し、再度説明したいと考えている。時期的には、半年か年内を目途に一応の結論を出さないと次に進めないと考えている。

**質問** 認定こども園における保育料や延長料金、長期休業の取扱や土曜保育はどうなるのか。

**民生部次長** 保育料や延長保育の料金については、2号・3号認定\*の子どもは保育所と同額を、1号認定の子どもとは2号・3号認定の子どもと均衡を図り、石動幼稚園の料金を考慮しながら設定する予定である。また、1号認定の子どもには教育を提供しない土曜日や長期休業があり、原則登園しないことから、これらの期間を除いて保育料を設定することになる。緊急時には預かり保育を行う予定だが、2号・3号認定の子どもの保

育料と均衡を図り、利用できる日数と料金を設定する予定である。

**質問** TPP協定で、国会決議は守られているか。協定では7年目に日本は関税撤廃の方向での協議が義務づけられている。米価が下落しないという保証はあるのか。

**市長** 重要5品目についてはおおむね守られたと理解している。

**産業建設部次長** 米価が下がらないとの保証はないので、生産者が自ら生産調整をし、需給バランスをとることに価格の動向がかかっている。

**質問** 下水道計画の抜本的な見直しを求めたい。国は公営企業会計への移行を要請している。これで下水道使用料が上がるという懸念があるが、そういうことはないか。

**産業建設部次長** 26年度に実施したアンケート結果をもとに、28年度は下水道事業の全体計画（散居村における整備手法等）について見直しを行う予定にしている。下水道使用料については移行に向けた準備を進めている段階であり、その影響を説明できる状況にはない。

- ◎小矢部市庁舎について
- ◎産婦人科医院等開設について
- ◎防火・防災対策事業について
- ◎介護予防・日常生活支援総合事業について
- ◎観光地としての戦略について
- ◎18歳選挙権実施について



嶋田 幸恵 議員

**質問** 耐震対策調査の結果を踏まえ、将来的な本庁舎の在り方について、どのように考えているのか。

**市長** 財政面や機能性等を考慮して、①現庁舎の耐震改修、②現在地で改築、③新たな場所での新築の3案の中から最善の方策を導き出し、全市民的な合意を得ていく必要がある。いずれの案においても多額の財源が必要なことから、第7次総合計画の中で検討したい。

**質問** 現在休止中の分娩について、北陸中央病院が再開を断念したと報道されたことは残念だ。産婦人科医院等の開設に関して、市の施策は何ら変わらないが妥当なのか。

**市長** 今後とも北陸中央病院に粘り強く要望するとともに、産婦人科医療施設開設等事業補助金制度の活用や市内で開業を志す方の発掘にも努めていきたい。

**質問** 消防団サポート事業はいつから実施する予定か。また、対象範囲等の検討はされているのか。

**総務部次長** 他の先進事例を参考に、飲食店や小売店で受けられる優遇の内容や対象範囲を検討し、新年度の早い時期

から実施してほしいと思っている。将来的には、砺波地域消防組合を構成する砺波市や南砺市とも制度の共有化を視野に、より有効な取組にしていきたい。

**質問** 平成28年度から「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」が施行されることに伴う地域相談員の活動計画及び県内の状況を確認したい。

**民生部次長** 地域相談員の活動計画については作成段階であり、今後、研修会が予定されている。地域相談員については県全体で31名、小矢部市内では身体障害者相談員を9名、知的障害者相談員を1名確保する予定と聞いている。

**質問** 観光戦略の一環として、新年度予算案に市のイメージソング制作費が計上されているが、どのように制作を進めていくのか。

**企画室次長** 本市をイメージできるフレーズを公募するなど、市民をはじめ多くの方が参画できるように取組を考えており、夏頃の完成を目指して取り組んでいきたい。

\*その他、次の質問がありました。  
「18才選挙権実施について」

\*用語解説  
 「1号認定」……満3歳以上の小学校就学前子どもであって、保育を必要としない子ども  
 「2号認定」……満3歳以上の小学校就学前子どもであって、保育を必要とする子ども  
 「3号認定」……満3歳未満の保育を必要とする子ども

## 閉会中委員会開催状況

### 総務常任委員会

2月2日に所管事項調査として、委員会を開催しました。  
\*市当局からの報告事項

#### ◎平成27年国勢調査人口速報（小矢部市分）について

平成27年国勢調査の人口速報集計結果（富山県要計表による集計結果）について報告がありました。  
・富山県要計表による人口  
30,416人（前回比△1,651人）  
・富山県要計表による世帯数  
9,513世帯（前回比△68世帯）

### 産業建設常任委員会

2月1日に所管事項調査として、委員会を開催しました。  
\*市当局からの報告事項

#### ◎平成27年度道路除雪の実施状況について

1月26日現在の道路除雪の実施状況について報告がありました。  
・除雪日数 6日  
（うち市内一斉除雪 2回）  
・当初予算額 1億円  
執行見込額 約6千万円  
（1月26日現在）

### 民生文教常任委員会

2月12日に所管事項調査として、委員会を開催しました。  
なお当日は、認定こども園の運営状況を調査するため、

太閤山あおい園（射水市）に赴き、現地調査を実施しました。



現地調査の様子

\*市当局からの報告事項

#### ◎砺波福祉圏域「児童発達支援センター整備基本計画」の策定について

児童発達支援センター「わらび学園」の老朽化が進んでいることから、砺波福祉圏域の3市（砺波市・南砺市・小矢部市）で、平成26年度は同施設の機能拡充と施設整備の方向性を定めた基本構想を、平成27年度にはその具体化を図るための基本計画を策定したとの報告がありました。

#### ◎新幼保連携型認定こども園の名称について

新幼保連携型認定こども園の名称が「小矢部市立「石動きらりこども園」に決定されたと報告がありました。

### 駅周辺整備特別委員会

2月8日に所管事項調査として、委員会を開催しました。  
\*市当局からの報告事項

#### ◎駅舎と図書館に係る建設事業における実施設計の素案提示の時期と内容について

駅施設と図書館の各基本設計を合わせて調整した実施設計の素案を、3月の委員会等で提示したいとの報告がありました。

#### ◎公共施設等総合管理計画策定の手順について

庁内組織で計画の草案を作成し、議会や市民の意見も聞きながら、平成29年3月議会には提示したいとの報告がありました。

#### ◎社会教育3施設の統廃合施設整備計画に係る外部委員会の設置時期とスケジュールについて

新施設の規模や運営体制等について広く意見を聞くため、4月に外部委員会を設置し、毎月1回程度の会合を重ね、10月頃には意見を取りまとめたとの報告がありました。

#### ◎新図書館とおとぎの館図書室の機能分担について

2つの図書館はそれぞれ異なる機能と役割を持ち相互に補完しているが、一部で機能の重複が見られるので、今後整理していきたいとの報告がありました。

### 人口対策等特別委員会

1月21日・1月26日に所管事項調査として、委員会を開催しました。  
\*委員会からの報告事項

#### ◎新成人アンケート調査の結果について

1月3日の成人式において、新成人を対象に実施したアンケートの調査結果を報告しました。

人口対策等特別委員会では、おやべルネサンス総合戦略事業の中でも「雇用と定住促進」・「地域づくり」に重点を置き、次の3項目について協議しています。

- 企業を巻き込むための施策
- 女性の就職による市外への転出抑制を図るための施策
- 青年男性・女性が主として活動を行える組織の構築

# 委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会の議案審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

## 予算特別委員会

一点目は、新規事業を含めて大型予算を編成されたが、財政再建と財政健全化に十分留意すること。また、予算執行にあたっては、適正な職員配置及び処遇改善に配慮しながらスピード感を持って取り組むこと。

二点目は、災害時の安全対策に万全を期すこと。

三点目は、中小企業大学校候補地の活用策を検討すること。

四点目は、アウトレットモール周辺整備と交通安全対策の充実を図るとともに、俱利伽羅トンネルを含めた国道8号4車線化の早期事業化に努めること。

五点目は、定住支援策と子育て支援策のさらなる促進を図ること。

六点目は、水道事業会計と下水道事業会計に関して、健全な運営を図ること。

七点目は、稲葉山総合計画の検討と農林水産業のさらなる振興を図ること。

八点目は、「義仲・巴大河ドラマ化」に向けて、さらに努力すること。

九点目は、駅周辺整備に係る駅舎及び南北自由通路については、市民の理解と協力を求め、使いやすい施設になるよう努めること。また、新図書館については、市民に愛される施設となるよう検討すること。

十点目は、小中学校の統廃合については、早急に検討委員会を設置すること。また、保育所の統廃合については、保護者や関係地区に理解と協力を求め、慎重に進めること。

## 総務常任委員会

一点目は、多くの条例が整備されるが、職員は内容について十分理解した上で、適正な施行に努めること。

二点目は、機構改革に伴う行政組織の改正が行われた場合、速やかに庁舎内の配置換えを行い、窓口事務に支障が起きることがないように移行作業を進め、万全の人員配置に努めること。

また、庁舎を訪れた市民が戸惑わないために誘導看板の設置を行い、庁舎内の配置変更については、広報等の有効な伝達手段を通じて、速やかに市民に周知すること。

## 産業建設常任委員会

一点目は、予算の執行について、平成27年度一般会計補正予算(第4号)には、国の地方創生加速化交付金を活用した多くの事業が盛り込まれているが、先駆性の高い事業の円滑な執行と速やかな効果の発現が期待されることから、議決後、直ちに着手をし、スピード感を持って取り組むこと。

また、今年度も、国の社会資本整備総合交付金の交付率が低かったとして、事業費を大幅に減額する予算補正が見られたが、社会資本の整備は、次世代に安全な公共インフラを引き継ぐために極めて重要な事業であり、当初予算に計上し、議会の議決を得ている以上は、事業を計画的に進めることができるよう、関係機関に要望するなどしてしっかりと働き掛け、その獲得に努めること。

二点目は、南部丘陵地の活用について、これまで20年以上にわたって誘致を目指してきた中小企業大学校北陸ブロック校の開設が事実上なくなったことを受け、今後、用地の活用方法を検討する際には、これまでの経緯も踏まえ、県と密接な連携のもと、熟慮して進めること。

## 民生文教常任委員会

一点目は、幼保連携型認定こども園の設置にあたり、事前に諸課題について、十分精査し、万一問題が発生した場合は迅速かつ適切に対処すること。また、今後、認定こども園への移行を検討する際に生かしていくこと。

二点目は、介護保険制度の改正に伴う地域事業の実施にあたり、関係機関と密接に連携をとり、適切に対応するとともに、市民の健康寿命の延伸に努めること。

## 平成27年度 議長交際費支出内訳表

平成27年4月～平成28年3月 (単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	15	316,000
① 御祝・寸志	6	130,000
② 激励金	6	165,000
③ 香典・供物	3	21,000
2 協賛費	26	111,502
3 会費・懇談会費	28	246,474
4 その他	33	337,139
合計	102	1,011,115
平成27年度予算額		1,400,000
執行率		72.22%

※小矢部市議会のホームページからもご覧いただけます。

## 6月定例会の日程(予定)

10日(金) 10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会

13日(月)

議案調査日

14日(火)

議案調査日

15日(水)

議案調査日

16日(木)

9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

17日(金)

10時 本会議(一般質問)

20日(月)

10時 人口対策等特別委員会

14時 民生文教常任委員会

21日(火)

10時 駅周辺整備特別委員会

14時 産業建設常任委員会

22日(水)

10時 総務常任委員会

23日(木)

14時 委員長会議

24日(金)

10時 議会運営委員会

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

※ピンク色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。  
 (当日午後7時とその週の午後6時から再放送予定)  
 録画映像はインターネットにて配信を行います。

※市議会では、市民の皆様のお聴きをお待ちしております。  
 詳細については、市議会のHPをご覧ください。



## 市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(平成27年12月20日～平成28年3月3日)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視 察 内 容
		議員	随員	
28. 2. 5	群馬県高崎市議会 (会派)	6	-	観光振興プランの基本戦略と施策の展開について

## 会務報告

平成27年12月19日から平成28年3月3日まで

年月日	件 名	摘 要	開催地
28. 1. 3	人口対策等特別委員会	・新成人アンケート調査	クロスランドおやべ
1. 5	関係機関等の新年挨拶回り	・富山県、県出先機関、富山及び金沢河川国道事務所、金沢市、津幡町、報道機関、あいの風とやま鉄道等	富山市 金沢市 津幡町等
1. 7	市内関係機関及び市内企業の新年挨拶回り	・小矢部警察署他7機関 ・(株)ゴールドウィン他13事業所	小矢部市内
1.12~13	県選出国會議員等の新年挨拶回り	・県選出国會議員、市関連企業等	東京都
1.21	人口対策等特別委員会	・おやベルネサンス総合戦略事業について報告	第二委員会室
1.22	高岡地区広域圏事務組合議会運営委員会	・2月定例会の運営について	氷見市 (エコ・クリーンセンター)
1.25	全員協議会	・小矢部市定住促進PR用ショートムービーについて他3件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・議会だよりNO.180について	第二委員会室
1.26	人口対策等特別委員会	・新成人アンケート2016について報告	第二委員会室
2. 1	産業建設常任委員会	・平成27年度道路除雪の実施状況について報告	第二委員会室
2. 2	総務常任委員会	・平成27年国勢調査人口速報(小矢部市分)について報告	第二委員会室

次のページへ

## ■ 会務報告 (つづき)

年月日	件名	摘要	開催地
2. 4	砺波地方衛生施設組合議会全員協議会	・ 2月定例会提出議案について	高岡市
	砺波地方衛生施設組合議会2月定例会	議事 ・ 平成28年度一般会計予算、分担金について等5議案	
2. 5	砺波地方介護保険組合議会運営委員会	・ 2月定例会について	砺波市
	砺波地域消防組合議会運営委員会	・ 2月定例会について	砺波市
2. 8	駅周辺整備特別委員会	・ 駅舎と図書館に係る建設事業における実施設計の素案提示の時期と内容について他3件について報告	第二委員会室
	高岡地区広域圏事務組合議会議員協議会	・ 2月定例会の運営について	高岡市
	高岡地区広域圏事務組合議会2月定例会	議事 ・ 平成28年度一般会計予算、分担金について等6議案	
2.12	砺波地方介護保険組合議会議案説明会	・ 2月定例会提出議案について	砺波市
	民生文教常任委員会	・ 行政視察 (認定こども園太閤山あおい園) ・ 砺波福祉圏域「児童発達支援センター整備基本計画」の策定について他1件報告	射水市 第二委員会室
	富山県市議会議長会定期総会	議事 ・ 平成28年度事業計画、会計歳入歳出予算、北信越市議会議長会定期総会提出議案について等5議案	富山市
2.16	砺波地域消防組合議会運営委員会	・ 2月定例会について	砺波市
	砺波地域消防組合議会全員協議会	・ 2月定例会提出議案説明及び報告事項について	
	砺波地域消防組合議会2月定例会	議事 ・ 平成28年度一般会計予算、構成市分担金の額について等10議案	
2.16~19	日台友好議員連盟訪台	・ 行政院農業委員会、観光局、中華航空本社 ・ 高雄市議会 ・ 台南市議会	台北市他
2.24	砺波地方介護保険組合議会全員協議会	・ 2月定例会の運営について	砺波市
	砺波地方介護保険組合議会2月定例会	議事 ・ 平成28年度一般会計予算、介護保険事業特別会計予算について等16議案	
2.25	議会運営委員会	・ 平成28年3月定例会について	第二委員会室
	富山県日中友好団体連合会	・ 講演 「隣り合う日本と中国未来を切り拓く相互理解の道」	富山市
3. 1~ 2	全員協議会	平成28年3月定例会提出議案説明会 ・ 平成28年度当初予算、平成27年度補正予算、条例等	第一委員会室

### 編集後記

4月14日に熊本県益城町で震度7を観測する極めて強い地震が発生しました。以後16日に再び震度7を観測する地震が発生するなど、短期間に極めて強い地震が相次いで起こり、九州地方の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。この度の震災で被災された方々に、深く哀悼の意を表しますとともに、早期の復旧を心から願っております。

私たちは起きてしまった災害から学び、自分の身にも起こり得ることであると理解し、来るべき自然災害に備えて十分に対策を講じなければなりません。

市民の生命、身体及び財産を自然災害から守ることは、自治体としての重要な役割であり、今後とも市当局と市議会が一体となって、より一層防災対策や減災対策に積極的に取り組んでいく必要があると感じています。

次回の「議会だより」は、平成28年8月の予定です。  
(議会だより編集委員一同)